

以下の【問題文】を読み、下記の【設問】に答えなさい。

【問題文】

飲食店 X は、いわゆるファミリーレストランであるが、全国展開しているチェーン店ではなく、地元の企業 Y がオーナーとなっている。オーナー企業 Y は、基本的な経営方針を示した後の現場の経営判断については、そのほとんどを店長に一任している。

飲食店 X では、これまで、ペット等の生き物をつれての入店を全面的に断ってきた。しかし、昨今の社会的要請から、オーナー企業 Y は、①盲導犬（主人が移動する場合を除き、常に主人の足もとの床で待機する盲導犬）を連れての入店を受け入れる、という方針に改めることにした。ただし、②リード（ひも）をつけたペットであっても入店を断る方針は維持する。このような方針変更にともない、今後の現場での対応について根本的に再検討するよう、オーナー企業 Y から飲食店 X の店長に要請がなされた。

そこで、店長は店員らとも話し合い、他の飲食店の経験なども参考にしつつ、前記の方針①と②の間で想定される例をいくつか考えた。

- (a) 介助犬（ドアを開ける、スイッチを押す、物をとってくる、ペットボトルの蓋を開ける、パッケージを開ける、割り箸を割るなどの補助を行い、場合によっては座席の上に乗ることもある）
- (b) 電車等に乗車する際に用いられる鍵付きのカゴに入れた状態の小型犬や猫
- (c) 透明容器に入れられた両生類・は虫類（カエル、ヘビ、トカゲ、カメなど）

少し考えただけでも、方針①のように盲導犬を認めるのであれば、このような場合はどうだろうか、と疑問のある想定例が出てきた。すべての例を事前に想定しておき、対応を決めておくことは困難である。しかし、店長が不在の時に店員が判断するためには、簡潔で明確な基準を定めておくことが必要である。

【設問】

問 1

- (1) あなたが飲食店 X の店長だった場合には、どのような基準を定めるか。3 行以内で基準を設定しなさい。
- (2) なぜ、あなたは、(1)で答えたような基準を設定したのか、説明しなさい。

問 2

あなたが問 1(1)で設定した基準に照らして、想定例(a)～(c)それぞれについて、入店を認めるか否かの判断と理由を示しなさい。